

令和4年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：防災費 目：防災総務費
担当課	危機管理課・みんなで減災推進課・消防保安課
事業名	「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業（単県）【一部新規】

目的

県民一人一人が災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって県民総ぐるみ運動に取り組むことにより、災害に強い広島県の実現を目指す。

事業説明

対象者

県民、自主防災組織、事業者、市町

事業内容

【広島県平成30年7月豪雨災害復興基金充当】

1 防災教育の推進（自助） (単位：千円)

区分	内容	要求額
防災教育の推進	○ひろしまマイ・タイムラインの普及促進のための、小学校・中学校への出前講座の充実及び自主防災組織等を対象とした防災教室の実施【一部新規】 ○自然災害の疑似体験ができるVR（バーチャル・リアリティ）教材の充実	92,654
県民の避難行動の促進	○マイ・タイムラインを実装した防災アプリの活用を促進するための広報プロモーションの展開 ○報道機関との連携による避難行動につながる取組の実施 ○避難行動につながる防災教室・防災訓練への参加機会の確保 など	79,600
小計		172,254

2 自主防災組織の体制強化（共助） (単位：千円)

区分	内容	要求額
避難の呼びかけ体制の構築の加速	○地域の災害リスクや呼びかけ体制の重要性を認識するための、セミナー・災害図上訓練・ワークショップの開催 ○呼びかけ体制構築やマイ・タイムラインの普及に係る費用助成 ○呼びかけ体制を構築した組織の維持・充実を図る訓練の実施等を支援 ○組織をサポートする防災リーダーを養成・育成する市町への支援	63,113

3 大規模災害等への初動・応急対応の強化（公助） (単位：千円)

区分	内容	要求額
県防災体制の強化	○次期防災情報システムの構築に向けたシステム要件や仕様の検討・事前調査 ○災害情報の収集に活用する各種デジタル機器の運用保守	60,706
市町の災害対処能力の向上	○南海トラフ巨大地震等を想定した市町初動・応急手順書の作成支援【新規】 ○市町災害対策本部運営に係る図上訓練の実施支援 ○階層別防災セミナーの実施（市町長、防災責任者、防災担当職員） ○県・市町共同での危機管理人材の確保・育成【新規】 など	43,194
小計		103,900
合計		339,267

成果目標

○ 事業目標

- ・マイ・タイムラインの作成に取り組んでいる小学校の割合 (R2実績) 56.1% (R4目標) 100%
- ・呼びかけ体制が構築されている自主防災組織数 (R2実績) 239 (R4目標) 2,075
- ・マイ・タイムラインを実装した防災アプリのダウンロード数 (R2実績) - (R4目標) 62.5万

○ ワーク、ワーク目標

ワーク	31 防災教育の推進	33 自主防災組織の体制強化	35 大規模災害等への初動・応急対応の強化
KPI	マイ・タイムラインを作成している人の割合	呼びかけ体制が構築できている自主防災組織の割合	災害リスク情報を自ら入手するためのツールを確保している人の割合
R2実績	4.9%	7.2%	32.9%
R4目標	38.9%	62.7%	50.0%
R7目標	60.0%	100.0%	80.0%

事業費 (単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	339,267	0	0	0	0	295,544	3,323	40,400	0
要求額	339,267	0	0	0	0	295,544	3,323	40,400	0
前年度当初予算額	354,507	0	0	0	0	322,693	3,814	28,000	0

査定結果

要求どおり

令和4年度当初予算・令和3年度2月補正

支出科目	款：総務費 項：防災費 目：防災総務費
担当課	危機管理課
事業名	防災情報システム機能強化等事業（一部国庫）【新規】

目的

防災情報システム等を改修することにより、災害時における初動応急対応を強化するとともに、非接触型自動心臓マッサージ器の導入により、新型コロナウイルス感染症対策を強化する。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

(単位：千円)

内 容	要求額	
	令和3年度 2月補正予算	令和4年度 当初予算
防災情報システム機能強化 ○消防庁が整備する「被害情報収集・共有システム（仮称）」と情報連携を行うため、広島県防災情報システムを改修 ※「被害情報収集・共有システム（仮称）」：消防庁が各都道府県からメール等により入手している被害情報を自動収集・自動集計するシステム	9,805	—
震度情報ネットワークシステム機能強化 ○伝送データを大容量化するため、ネットワークを光回線に切替 ※震度情報ネットワークシステム：全市町に設置された震度計で計測された震度情報を県で収集し、気象庁及び消防庁に自動送信するシステム	2,000	—
防災ヘリコプター救助用自動心臓マッサージ器導入 ○救助活動に係る新型コロナウイルス感染症対策強化のため、非接触型自動心臓マッサージ器を導入	—	3,179
合 計	11,805	3,179

成果目標

- 事業目標：防災情報システム等の機能強化による情報収集・共有の迅速化  
非接触型自動心臓マッサージ器の導入による新型コロナウイルス感染症対策の強化

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	令和4年度当初予算	3,179	3,179	0	0	0	0	0	0	0
	令和3年度2月補正予算	11,805	10,805	0	0	0	0	0	1,000	0
要求額	令和4年度当初予算	3,179	3,179	0	0	0	0	0	0	0
	令和3年度2月補正予算	11,805	10,805	0	0	0	0	0	1,000	0
令和3年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（R4：3,179千円）

査定結果

要求どおり